

施設ご案内・交通ご案内

介護老人保健施設 **女池南風苑**

〒950-0943 新潟市中央区女池神明1丁目3番地3
TEL (025) 284-3411 FAX (025) 284-2188

在宅介護支援センター **女池南風苑**
[指定居宅介護支援事業者]

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3
TEL (025) 283-0500 FAX (025) 283-0663

新潟南訪問看護ステーション

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3
TEL (025) 284-7511 FAX (025) 283-0663

にいがたみなみ めいけクリニック

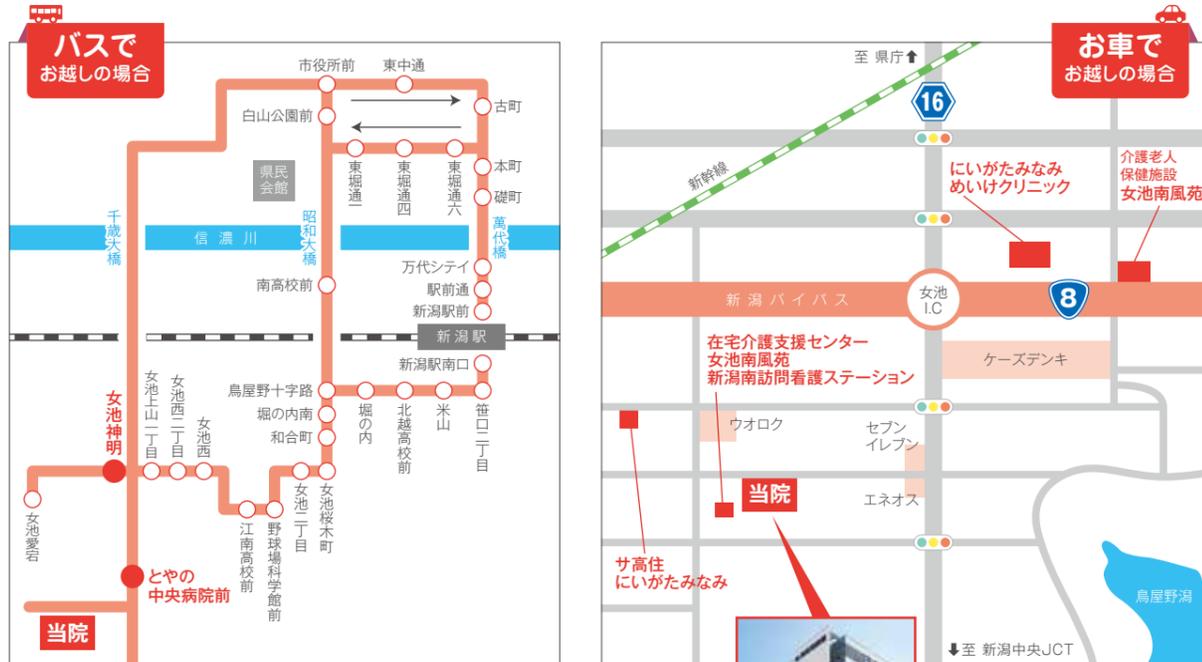
〒950-0943 新潟市中央区女池神明1丁目7番地8
TEL (025) 284-7818 FAX (025) 284-7830

サービス付き 高齢者向け住宅 **サ高住 にいがたみなみ**

〒950-0950 新潟市中央区鳥屋野南3丁目25番16号
TEL (025) 284-3535 FAX (025) 282-7226

院内保育所(24時間保育) **わんぱく園**

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3
TEL (025) 284-9563



新潟駅南口方面からお越しの場合
(S51 女池線) 女池愛宕行(3番線)にご乗車いただき「女池神明」で下車 徒歩15分
新潟市役所方面からお越しの場合
(S1 市民病院線(6番線)にご乗車いただき「とやの中央病院前」下車、徒歩5分

上記以外にも、最寄りのバス停から当院までのルートを下記のURLにて調べることができます。

にいがた新バスシステムの時刻表・運賃検索

<https://transfer.navitime.biz/niigatabrt-newssystem/pc/map/Top>



フロアご案内

- | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--------------------------------|-------|------------------------------------|---------------|-------------|-----------|
| 1階 | 10 総合受付 | 11 小児科 <small>小児言語聴覚療法</small> | 12 内科 | 13 中央処置室 <small>採血 点滴 化学療法</small> | 14 放射線 | 15 内視鏡・生理検査 | 16 救急・時間外 |
| 2階 | 21 母乳外来 | 22 整形外科・外科・皮膚科・泌尿器科 | 23 眼科 | 24 歯科・婦人科 | 25 ドック・健診センター | | |
| 3階 | 31 手術センター | 32 管理部門 | | | | | |
| 4階 | ● 西病棟 401 ~ 420 | ● 東病棟 451 ~ 469 | | | | | |
| 5階 | ● 西病棟 501 ~ 515 | ● 東病棟 551 ~ 561 | | | | | |
| 6階 | ● リハビリテーション室 | ● 西病棟 601 ~ 610 | | | | | |

みなみだより

令和元年 5月号 [vol.15]

新潟南病院と併設施設のご紹介	2-3
内科外来のご紹介	4-5
訪問診療のご紹介	6-7
訪問リハビリのご紹介	8-9
在宅介護支援センター 女池南風苑のご紹介	10-11
新潟南訪問看護 ステーションのご紹介	12-13
地域医療連携室のご紹介	14-15
施設ご案内・交通ご案内	16



医療法人 恒仁会
新潟南病院

併設
介護老人保健施設 女池南風苑
在宅介護支援センター 女池南風苑
[指定居宅介護支援事業者]
新潟南訪問看護ステーション
にいがたみなみめいけクリニック
サ高住 にいがたみなみ
院内保育所(24時間保育) わんぱく園

〒950-8601
新潟市中央区鳥屋野2007-6
TEL (025) 284-2511 (代表)
FAX (025) 284-2080

<http://www.niigataminami-hp.com>

基本理念：
医療・保健・福祉活動を通して地域社会に貢献し、
社会的責任と与えられた使命を全うします

新潟南病院と併設施設のご紹介



医療法人 恒仁会
副理事長 渡部 裕



1978年に地域のみなさまの健康を守るため、新潟南病院は開院しました。近年の高齢社会に対応し、病院に足りない機能を補うために、いくつかの併設施設を新設してきました。2018年11月には病院が新築移転いたしました。現在では**新・南病院と6つの施設**で、日常生活上のあらゆる健康に関する事に対応できるように取り組んでいます。



新潟南病院

生き生きとした生活を支える病院を目指して、外来ならびに入院診療と、リハビリ、健康診断・人間ドックを行っています。この地域のみなさまが、“南病院に来院すれば何とかなる”といった安心感を持っていただけるよう努めています。

高齢になりますと、しばしば複数の病気を患ってしまうことがあります。南病院では様々な専門分野の医師が診療しています。さらに、高齢患者さんの困ったことに対処するために、摂食嚥下歯科と脊椎外科を新築移転後に新設しました。病気以外にも、歩きにくい・食事の際にむせる、といった身体機能の低下はリハビリで改善を目指します。体のことや物忘れなど、お困りのことがありましたら、何でもご相談ください。

こどもは地域の宝です。大切なお子さま・お孫さまがお困りの時の力になるため、小児科医3名体制で診療をしています。共働きのご家庭が多くなっていますので、土曜日午前中も小児科外来とワクチン接種を行っています。ことばの発達のお手伝いをするための、

待合室



“はったつ外来”と“言語療法”も併せて行っています。

入院となりました際には、病気の治療だけではなく、退院後に生き生きとした生活を送るためのお手伝いも行います。色々な職種の専門部門が連携をして、機能改善のためのリハビリ、栄養の改善、退院後の生活に必要な訪問サービスの整備などを入院当日から行います。

何らかの手助けが必要な患者さんが自宅で過ごせるように、南病院からあらゆる職種のスタッフが自宅に訪問しています。**内科医や看護師はもちろんのこと、内科以外の医師、歯科医師、リハビリ士、管理栄養士**が生活の場に訪れまして診療を行っています。

南病院はこの地域の中心施設を目指していますが、高度医療の中心である新潟市民病院と新潟大学医歯学総合病院とも密接な関係にあります。初期治療を行った後に南病院へ転院して、さらなる治療やリハビリを行って退院を目指す患者さんが多くいらっしゃいます。また、近隣のクリニックからの紹介患者さんがいつも来院されています。このようなことは南病院への信頼の証と、嬉しく感じています。

グループ内の他施設

高齢化や病気の発症によって何らかの介助が必要となる方の数は、年々増えてきています。こういった高齢者の生活を支えるために、南病

女池南風苑



にいがたみなみめいけクリニック

院と同じグループ内には様々な施設があります。“サービス高齢者向け住宅にいがたみなみ”や“女池南風苑”では、数週間から年余に渡って入所して生活を送ることができます。

南病院の移転にて通院にご不便をおかけします患者さんもいらっしゃるかと思います。ご容赦いただきますとともに、旧病院跡に新設しました、**にいがたみなみめいけクリニック（平日午前中に開院しています）**へご来院ください。なお、各施設につきましては本冊子の最後のページもご覧下さい。

最後になりますが、南病院とグループ施設は地域のみなさまの健康を守り、困ったことを解決するために職員一丸となって努めています。何かお困りのことや相談がありましたら、どうぞ南病院受付または各施設の窓口まで、ご相談ください。

内科外来のご紹介



新潟南病院副院長
消化器内科部長 見田 有作



内科外来は新病院の1階のほぼ中央に位置し、広い待ち合いを挟むように7つの診察室があります。すぐ近くには中央処置室があり、血液検査や処置、点滴もスムーズに行うことができます。処置室には広いスペースに処置用ベッドが3床あり様々な処置に対応しており、その奥には点滴用ベッド5床を備え、静かな環境で点滴を受けることができるようになっています。

また放射線部も近接しており、レントゲンやCT等の画像検査も緊急検査も含めスムーズに施行できます。さらに内視鏡・生理検査部門も同じ1階にあり、内視鏡や各種エコーの検査枠を増やし早期に予約できるようにしておりますし、随時緊急検査にも対応しております。このように内科に関する診療・検査・処置は、階を上下することなく全て1階のコンパクトな動線の中で滞りなく行えるようになっております。

内科の診療としては、一般内科はもちろん、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科といった専門性を持った外来を日々行っております。外来は予約制をとりつつも、新患の方、予約外で受診の方にもできるだけ待ち時間の少なくなるよう工夫しながら診療を心掛けております。

1年程前からは睡眠時無呼吸外来や禁煙外来も開始し軌道に乗っておりますし、この4月からは増える患者さんの需要に応えるべく糖尿病・内分泌の外来枠を増やしたところです。

土曜日の午前中も毎週診療を行っておりますので、平日お仕事でなかなか受診できない方に、是非受診していただければと思っております。また、新潟市の特定健診は土曜日も含め午前中であれば予約なしでいつでも受け付けております。胃がん検診(胃カメラや胃バリウム検査)や大腸がん検診(便潜血検査)も随時受け付けております。

一般的に、かかりつけ医と言われる内科診療所は、気軽に受診しやすい反面できる検査

処置に限られる面があるかと思えます。一方規模の大きな病院では、高度で専門的な検査治療はできますが、受診の垣根が高く予約や紹介状が必要であったり、また各専門科が縦割りとなり専門以外の病状への柔軟な対応が行い難い面があるように思います。その点当院は、ちょっとした風邪症状、何か体調が悪い等の軽微な症状の方も気軽に受診していただけますし、必要に応じて早期に検査処置を行い、その結果専門的な精査治療が必要な方は、スムーズに各専門医に引き継ぐような体制をとっております。つまり、内科診療所と専門病院の中間、いやその両者の機能を併せ持っているものと自負しております。

医師、看護師始め内科スタッフ一同、誠実で患者さんに寄り添った診療を心掛けております。ちょっと体調が悪い、検診で引っかかった等何かありましたら、どうぞお気軽に受診していただければと思います。



訪問診療のご紹介

在宅療養部長
内科医師 大石 香奈子



施設の種類やお住まいの場所によっては訪問できない場合もありますので、訪問診療を希望される場合はまず新潟南病院訪問診療担当(代表025-284-2511)までお電話ください。また、訪問診療のホームページもありますのでご参照ください。

病院に通うことが困難な患者さんはいらっしゃいませんか

新潟南病院では様々な職種や部署が連携をとりながら在宅療養を支えています。これらが更なる連携をとり、患者さんの生活の質が向上し住み慣れた自宅や施設で安心して療養生活を送れるようにと、平成31年4月より在宅療養部が立ち上がりました。そこで訪問診療・往診についてご紹介いたします。

身体機能が低下して日常生活に介助が必要である、物忘れなど認知症症状が悪化しているといった理由で通院が困難な患者さんのご自宅や施設に、医師と看護師が月に1～2回、定期的・計画的に訪問し、診察を行います。また、状態が悪くなったときには緊急で訪問し診療を行うことがあります。

診察のほか、必要に応じて薬の処方箋の発行、血液検査、血糖測定、インフルエンザウイルス検査、心電図検査、尿道カテーテル交換、胃ろうチューブ交換(バルーンタイプ)、インフルエンザワクチン接種、肺炎球菌ワクチン接種、褥瘡や傷の処置(縫合)などが行えます。在宅酸素療法、インスリンなどの自己注射、胃ろうなどの栄養補助療法の管理も行います。病状によっては自宅での点滴や緊急入院の手配をすることもあります。

訪問診療は複数の内科医が担当していますが、訪問歯科のほか、訪問診療を受けている患者さんに限りですが、外科、眼科、皮膚科の往診も行っています。今までかかっていた専門医の通院を続けることもできます。

できるだけ入院はしないで自宅で可能な範囲の医療を受けたい、最期は自宅で迎えたい・看取ってあげたい、という思いにも向き合っています。ご本人やご家族の希望をお聞きし、病状が悪化したり急に变化したときの不安を減らせるよう、一緒に考えていきます。

これ以上自宅での療養は困難だと思われたり、急な病状の変化で入院を希望される場合は新潟南病院に入院の上対応させていただきます。



訪問リハビリのご紹介

リハビリ部 訪問リハ主任 渡邊 未佳、スタッフ一同

リハビリテーション【Rehabilitation】とは【再び(re)人間らしい状態にする(habilitation)】というのが本来の意味です。つまり、リハビリテーションとは機能回復訓練のみを指すものでなく、もっと広い意味を持ち、ひとりの人間として、元の地域社会で自立した生活を送れるようにすることです。

リハビリには病院で行う入院や外来のリハビリ、施設で行う入所や通所のリハビリなどがありますが、『訪問リハビリ』は生活の場である自宅で行うリハビリです。

皆さんがリハビリと聞いてイメージするのは、病気やケガによって負った障がいや廃用症候群といった機能低下を改善するための運動、体操なのではないでしょうか。もちろん、それらも重要なリハビリです。

『訪問リハビリ』ではそういった運動、体操を行うだけではなく、障がいを負ってからも「より豊かで楽しい生活」、ちょっと大げさに言うと「イキイキとした人生」を送れるように自宅での生活を支援することを目的としています。

たとえば…

- 病気やケガによって歩くのが不自由になった… ⇒ 買い物に行けない？
趣味だった習い事に行けない？
家族や友人と旅行に行けない？
- ムセやすく、食事に不自由を感じる… ⇒ 好きな物を食べたり飲んだりできない？
家族や友人と外食に行けない？



そんなことはありません!!

少しだけ考え方や視点を変えることで、今まで使ったことのない道具を使うことで、方法を工夫することで、実現できること(活動)はたくさんあるんです!

病気やケガによって諦めてしまいがちな人生を少しでも「イキイキとした人生」に変えるために、やりたい活動の練習や助言を行うのが私たち『訪問リハビリ』の役目です。

もちろん、食事やトイレなど身の回りのこと、調理や洗濯などの家事も大切な活動です。



当事業所が提供する『訪問リハビリ』は病院が母体であることを強みに、医師や看護師、栄養士など多職種との連携を密にとり、病気や栄養状態を考慮した上でリハビリを行っています。

当事業所では利用者の方に定期的に栄養評価を行っています。「なぜ栄養?」と思われる方も多いと思いますが、リハビリと栄養には大きな関わりがあります。

低栄養の状態は筋力や免疫力の低下を招き、日常生活等にも影響を及ぼします。筋肉を養う栄養が不足した状態で運動を行っても、効果が得られません。当事業所の利用者の方に栄養評価を実施したところ、半数以上の人が「低栄養のおそれあり」という結果でした。そこで、当事業所では管理栄養士による「栄養指導」とリハビリ専門職による「リハビリ」を併せて行うことで、より訪問リハビリの効果をあげていくという新たな取組みを始めました。「栄養指導」については次号の栄養管理部の紹介に掲載される予定ですので、そちらをご覧ください。

本当はやりたいことがあるのに諦めている方、日常生活に不自由を感じたり、困っていることがある方、ぜひ一度ご相談ください。

私たち『訪問リハビリ』でお手伝いできることがあるかもしれません!

写真の大作は、当事業所の利用者の方に一文字ずつ書いていただいた書を貼り合せたものです。





在宅介護支援センター 女池南風苑のご紹介

在宅介護支援センター女池南風苑
センター長 藤塚 寛行

病院西側玄関を出ていただくと、駐車場奥にベージュ色のレンガ造り風2階建ての建物が見えます。新潟南病院の移転に伴い、在宅介護支援センター女池南風苑(以下、支援センター)も病院の敷地内に移転しました。建物内には新潟南訪問看護ステーション、道路側に院内保育所わんぱく園が入っています。支援センターにはケアマネジャーが6名いて、「住み慣れた地域で、その人らしい生活」が送れるようご支援しています。

介護保険サービスを利用するためには、要介護認定を受ける必要があります。支援センターは介護の相談窓口で、要介護認定の申請受付も行っています。そしてケアマネジャーがお困りごとやご希望等を伺いながら、サービスを利用するためのケアプラン(介護の計画)を作成して、サービス利用の調整を図ります。サービス開始後も、継続してご自宅を伺い生活を支援していきます。申請や相談等でご来所の際には、1階に相談室がありプライバシーに配慮しています。またお越しいただくことが大変であれば、ケアマネジャーがご自宅等に訪問して手続きを行うこともできます。

支援センターでは、介護者や一般の方向けに、新潟市の家族介護教室として「介護者の集い」を年間3回開催しています。毎回テーマを決めて、2時間程度の時間で、1回あたり約20~30名の方が、勉強やストレス解消、介護者の交流の場としてご参加いただいています。昨年度は「介護者のストレス」「口腔ケア」「介護保険の施設」をテーマに開催しました。今年度も3回開催する予定です。ご興味のある方は「市報にいがた」にお知らせが掲載されますのでご確認下さい。また支援センターにご連絡いただければ、企画や開催時期などをお伝えすることができますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

新聞やテレビなどで「地域包括ケアシステム」という言葉を見る機会が多くありますが、私達もその一端を担う立場にあります。地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域でい

つまでも元気で暮らすために、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できるようにする地域の取り組みのことをいいます。地域包括ケアシステムの実現に向けて、新潟南病院、南病院訪問リハビリや、新潟南訪問看護ステーション、介護老人保健施設女池南風苑等の当法人サービスや、地域のサービス事業者や医療機関、施設、更に介護保険以外のサービス、そして地域の皆様と連携を深めて、支援の輪を充実させていきたいと考えています。事業所が移転しましたが、スタッフは変わらず、これまでどおり速やかに対応させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

連絡先 電話 025(283)0500

営業時間 平日 8:30~17:30 土曜 8:30~12:30





新潟南訪問看護 ステーションのご紹介

新潟南訪問看護ステーション
所長 小野 菊世

こんにちは。訪問看護です。当ステーションも南病院と同時期に移転し、新たな一歩を踏み出したところです。移転当初は、訪問に何うにもどの道順で行こうか、どこの道が空いているだろうかと右往左往の毎日でしたが、ようやく落ち着いてきたところです。

開設（H7年11月）当初から訪問看護の訪問職員は看護師のみでしたが、この4月よりリハビリ療法士が南病院と兼務ではありますが、勤務することになりました。看護師5名、理学療法士と作業療法士が各1名、言語聴覚士2名、事務員1名の少し大所帯になって新年度を迎えました。看護師と療法士双方で訪問することで、それぞれの専門分野から利用者さんの在宅療養生活を支援し、サービスの質の向上が図れるよう、頑張っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

とは言え、訪問看護自体まだまだ知られていない部分が多いと思われます。そこでこの書面を通じ、よくある質問に対する回答で、より一層訪問看護を知っていただく機会にしたいと思います。



Q1: 訪問看護はどんなことをしてくれるのですか？

A1: 主治医の指示のもと、病状の観察、療養上のお世話、ご家族への支援、医療ケアや処置、リハビリテーション、認知症ケア、ターミナルケアなどを行っています。

Q2: ヘルパーさん（訪問介護）との違いは何ですか？買い物・掃除・お風呂の介助はしてもらえますか？

A2: 私たちは、利用者さんが持っている能力に応じて、自立した日常生活が送れるように、療養生活を支援し、心身の機能維持・回復、生活機能の維持向上を目指しています。ま

た主治医の指示により医療的処置やリハビリテーション、療養上のお世話や診療の補助を行っています。

基本買い物やお掃除はヘルパーさん、お風呂の介助は利用者さんの状態によりご相談になります。

Q3: 訪問看護を利用するにはどうしたらよいですか？

A3: ①担当ケアマネジャー ②かかりつけ病院の医療相談員 ③最寄りの地域包括支援センター ④訪問看護ステーション などにまずはご相談ください。

Q4: 南病院がかかりつけでないと、新潟南訪問看護ステーションの利用はできませんか？

A4: 現在かかっている先生から指示を頂きますので、利用できます。

Q5: 医療的ケアが必要な人しか、訪問看護は受けられませんか？

A5: 主治医の指示があればどなたでも利用できます。最近はや支援の方の利用も増えています。

Q6: 保険は何を使いますか？

A6: 介護保険か医療保険を使いますが、どちらを使うかは制度で決められていますので、ご利用開始時に確認してください。

Q7: 回数はどのくらい利用できますか？

A7: 介護保険利用の場合は、ケアマネジャーのケアプランに沿って回数が決まります。医療保険利用の場合は、特定の疾患や医師の指示により訪問回数は変わります。利用開始時にご相談ください。

訪問看護ステーションは南病院の職員駐車場の一角、わんぱく園の2階に事務所を構えています。訪問看護の事をもっと聞きたい、知りたい、利用したい、などありましたら下記までお問い合わせください。

連絡先 〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3

電話 025-284-7511

営業時間 月～金 8:30～17:30

土 8:30～12:30



地域医療連携室のご紹介



地域医療連携室長 小林 奈美

新病院に移転して約半年が経とうとしています。皆様、地域医療連携室ってどこにあるかご存知ですか。当院に来院頂いた方はご存知かもしれませんが、受付のすぐ隣に入口があります。

連携室って何をするとおもうかと思いますが、連携を行っています。他の病院や医院、介護事業所など様々な所と連携しています。連携室には医療相談員が4名おり、退院調整を中心に、他の病院からの転院相談などを行っています。

入院して治療は順調だけど、入院前はできていたことが出来なくなって、どうしようか困ってしまった。今までは自宅で何とかやってきたけど、今後は自宅以外の退院先を検討したい。などなど、退院を目指すにあたり、患者様、ご家族様の「困った」や「どうしよう」に寄り添い、支援をすることが主な仕事です。

例えば、入院前は一人でトイレに行けていたのに介助がないといけない、でも一人で行ってもらいたい…、なんてことがあります。そんなときはリハビリや看護師と連携し、どうしたら一人でトイレに行けるようになるか相談します。そして、一人でいけるようになるための環境作りを患者様、ご家族様と相談して行います。必要に応じて、介護保険の申請や介護サービスの調整を行います。その時には、ケアマネ等と連携して、具体的な調整を行います。

他にも今までは自宅で何とかやってきたけど、仕事もあるし、自宅での介護はできないけど、施設ってどんなものがあるかな…。そんな時には患者様の状態や経済状況等を確認しながら施設と連携して提案を行い、入所申し込みの支援を行います。

もし、お困りのことがあり、どこに相談していいかわからないときには、受付の窓口で相談員に声をかけていただければと思います。もちろん、入院、外来は問いません。また、当院受診をしてない方でも相談は可能です。気軽にお声がけください。

また、地域の診療所、介護事業所の支援という点で、連携室では「にいがたみなみ在宅ネットワーク」の事務局を行っています。地域に住んでいるすべての方がより安心して過ごせるように支援します。

新病院になり、変わったこととしては、連携室の場所が分かりやすくなったこと、今までなかった相談室が2つできたことです。相談室は個室ですので、プライバシーは保護されていますので、ゆっくりと話をしてください。また、今後は地域に密着した病院として地域住民の皆様にご貢献したいと考えています。地域の皆様が今以上に健幸となる一助になればと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

